

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」問題の効果的な活用(その1)

平成23年7月5日(火)に、平成23年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施しました。各学校におかれましては、本調査の適正な実施に御協力いただき、ありがとうございました。

本号では、小学校の国語、社会の調査問題を通して、誤答分析の考え方や調査問題を活用した指導の手だてについて紹介します。中学校の調査問題については、次号に(その2)として紹介します。

小学校・国語の調査問題より

【漢字を正しく書く問題】(観点：言語についての知識・理解・技能)

3 次の(1)と(2)の_____をつけたかたかなの部分にあたる漢字を書きましょう。

(1) 去年の夏は、とてもアツかった。 《正答》 暑

(2) けさは少しサムいので、わたしは上着を着ました。 《正答》 寒

● 出題のねらい

「第3学年の配当漢字である『暑』『寒』を正しく書くことができるか」をみる問題です。

☆ 指導の手だて

漢字の書き取り指導を行う際、その漢字の配当学年に配慮しつつ、対義語となる言葉の漢字や同じ読みの漢字をあわせて指導していくと効果的です。

《例》「高い」(第2学年)と「低い」(第4学年) 「天」(第1学年)と「地」(第4学年)

「進」(第3学年)と「退」(第5学年) 「厚い」(第5学年)と「熱い」(第4学年)

【文学的な文章を読み解く問題】(観点：必要な情報を正確に取り出す力)

6 次の文章を読んで、あとの(1)から(3)までの各問題に答えましょう。

林子は、いなかの与市じいさんを一人でたずねました。むかえに来た与市じいさんといっしょに駅を出たところです。(略)くまわりの景色について、臨場感のある描写で表現されている。

(福 明子著「天風の吹くとき」より)

(1) 立ちどまってしまったとありますが、その理由は何ですか。次のアからエまでのの中から最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えましょう。

ア 与市じいさんに会えて、うれしかったから。

イ 長く電車に乗って、つかれてしまったから。

ウ おしゃべりをして、元気が出てきたから。

エ すごい景色を見て、びっくりしたから。《正答》

● 出題のねらい

「林子の行動を基に、その理由を正確に取り出すことができるか」をみる問題です。

◆ 誤答分析のポイント

アを選択した児童は、前文に着目し「いなかの与市じいさんを一人でたずねました。」「むかえに来た与市じいさんといっしょに」ということから、本文を読まずに判断してしまったと考えられます。

イを選択した児童は、「立ちどまってしまった」という文が直後にあるため、与市じいさんの「つかれたか。電車に乗ると時間がずいぶん長かったからな。」というせりふに着目し判断してしまったと考えられます。


ウを選択した児童は、本文の前半部分にある「だれにも負けないうらい元気いっぱいに見えるのは、はきはきと歯切れのいいしゃべり方～」という文や林子の「あ、ここ、お米屋さんだ」等のおしゃべりから、判断したと考えられます。

☆ 指導の手だて

文学的な文章において、児童に、登場人物の行動の理由を問うと、行動の直前・直後のみに着目して判断してしまう場合があります。そのため、行動の理由を問う指導では、行動や場面(状況)の変化と登場人物の気持ちの変化を結び付けられるよう発問や指示を行うなどの指導を工夫することにより、児童自身に登場人物の心情を捉えさせることが大切です。

小学校・社会の調査問題より

【調べた事実を基に考える問題】(観点：社会的な思考・判断・表現)

<p>2 さちこさんは、さまざまな食料品がどのように売られているかを調べるために、自分の家の近くにあるスーパーマーケットに行きました。</p> <p>次の〈調べたこと〉の①から④までと〈調べたことから考えたこと〉のAからDまでとの組み合わせとして、最もふさわしいものを下のアからエまでの中から一つ選びなさい。</p> <p>〈調べたこと〉</p> <p>① 産地名が示されていること。 ② 生産者の写真と名前がのせられていること。 ③ 今年のぶどうの育った様子が説明されていること。 ④ 1パックのねだんだけでなく、2パックのねだんもしめされていること。</p> <p>〈調べたことから考えたこと〉</p> <p>A 今年はおいしいぶどうができていることを伝えたいからだと思う。 B せきにんをもって作った果物であることを伝えたいからだと思う。 C なるべくたくさん買ってもらいたいからだと思う。 D ぶどうの名産地のものであることを伝えたいからだと思う。</p>	<p>スーパーマーケットの「果物がならべてあるコーナー」の札に書かれていること</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>きよほう やまなしけんこうしゅうし 巨峰 山梨県甲州市 やまむら 生産者 山村 けいすけ </p> <p>※今年はとても暑かったのですが、おかげでとても甘いぶどうができました。</p> <p>※ 1パック 480円 ※ 2パック 900円</p> </div> <p>ア ①-D ②-C ③-B ④-A イ ①-D ②-B ③-A ④-C 《正答》 ウ ①-C ②-D ③-B ④-A エ ①-C ②-B ③-A ④-D</p>
--	---

● 出題のねらい

「地域の人々の販売に関する仕事の様子から、販売の工夫を考えようとしているか」をみる問題です。

◆ 誤答分析のポイント

アを選択した児童は、「生産者の写真と名前」、「ぶどうの育った様子」、「2パックの値段」と「考えたこと」と結び付けて考えることができなかつたと考えられます。

ウを選択した児童は、①から④の「調べたこと」が、AからDの「考えたこと」と結び付けて考えることができなかつたと考えられます。

エを選択した児童は、「産地名」、「2パックの値段」と「考えたこと」と結び付けて考えることができなかつたと考えられます。

☆ 指導の手だて

観察や取材などの調べ活動を行った際には、調べたこと(本事例では、「1パックの値段だけでなく2パックの値段も示されていた」という事実)から、なぜそのようになっているか(本事例では、「なるべくたくさん買ってもらいたいからだと思う」という販売の工夫)を具体的に考えさせることが大切です。

また、「安心して食べてもらいたい」という販売者の願いを取材した児童には、「生産者の名前と写真を提示する」など、具体的な事実を捉えさせることが大切です。

※ 平成23年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の調査票(問題用紙)・解答用紙・解答・採点要領につきましては、東京都教育委員会のホームページに掲載しております。

次のURLより御覧ください。全て、PDF形式のファイルにて掲載しています。

URL : <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr110705.htm>

都の学力調査に関する今後のスケジュール

1 調査問題説明会

今回出題した調査問題の概要及び指導の手だてについて、各教科の担当指導主事が各小・中学校の先生方へ直接、プレゼンテーションを行います。本説明会の対象・日時・場所は、右の表のとおりです。

2 速報値の提示

9月上旬頃を目途に、都全体の約10%を無作為抽出した学校の平均正答率を、各小・中学校と区市町村教育委員会へお示しします。

3 個人票の発送

来年1月中旬頃を目途に、個人票を発送いたします。自校採点A型校については、個人票を作成するプログラムを送付していますので、個人票は発送しません。

4 自校採点校について

自校採点A型校の中には、すでに採点を終え、個人票を各家庭へ返却したり、夏季休業中の三者面談に活用したりしているという報告をいくつかいただいております。夏季休業中を利用して、自校において採点をし、児童・生徒の学習に関する課題を明確にさせていただき、夏季休業明けの返却をお願いいたします。

自校採点B型校におかれましては、8月上旬頃を目途に、回収した児童・生徒の解答用紙を返却いたします。夏季休業中を利用して、自校において採点をし、児童・生徒の学習に関する課題を明確にさせていただき、夏季休業明けの返却をお願いいたします。

8/17(水) 14:30~16:45	多摩社会教育会館ホール 中学校・中等教育学校の教員を対象とした調査問題説明会
8/18(木) 14:30~16:45	東京都教職員研修センター 市町村立小学校の教員を対象とした調査問題説明会
8/22(月) 9:30~11:45	東京都教職員研修センター 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・品川・目黒・大田・世田谷・渋谷・中野区の小学校の教員を対象とした調査問題説明会
8/22(月) 14:30~16:45	東京都教職員研修センター 杉並・豊島・北・荒川・板橋・練馬・足立・葛飾・江戸川区の小学校の教員を対象とした調査問題説明会
9月上旬頃	都全体の10%の学校の速報値提示
1月中旬頃	個人票の発送(自校採点A型校以外)

【連載】義務教育特別支援教育指導課指導主事より 第2回:小学校 国語科

小学校3年生の国語の教科書(東京書籍)に「サーカスのライオン」という作品があります。同じような毎日の繰り返しに、元気をなくしていたサーカスの年おいたライオンが、少年と出会うことで、昔アフリカで風のように走っていた自分を取り戻そうとする作品です。



この作品は、場面分けのヒントとなる「時を表す言葉」や、「ライオンの気持ちを考えることができる叙述」が、随所にあります。

このことから、場面分けの指導や場面ごとにライオンの気持ちをノートやワークシートにまとめさせる指導は丁寧に行われている反面、ライオンの気持ちが、場面が進むにつれてどのように変化しているのかを考えさせる指導が十分でない場合があります。

このことについて、「小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語」では、第3学年及び第4学年の「C読むこと」の指導事項(1)ウにおいて、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」とあるように、「場面の移り変わり」や「気持ちの変化」を読み取らせる指導が大切です。

平成22年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」小学校国語科の「読み解く力」に関する問題では、登場人物の行動に着目させ、場面の移り変わりや登場人物の行動の変化を関連付けて読み取る問題を出題しました。「文章中から、登場人物の行動を正確に取り出すことができるかをみる」問題の正答率は87.3%でした。しかし、「時間の順序に即して、登場人物の行動を関連付けて読み取ることができるかをみる」問題の正答率は68.7%でした。このことから、登場人物の行動の変化を捉えることに課題があることが明らかになっています。

私が教員時代に、本題材を用いて「場面の移り変わり」と「気持ちの変化」を関連付けて読み取る指導を行いました。その結果、多くの児童が、ライオンがなぜ少年を助けたのかを、前の場面と関連付けながら考えることができました。そして、「自分の存在を認めてくれてうれしかった。だから少年のために何かしたかった。」や「ただ何となく生きている自分を救ってくれた。今度は自分が救う番だ。」などの意見が出ました。児童は、気持ちの変化とその変化を引き起こした出来事とを結び付けて考えることができました。

★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを送信してください。なお、本メール・マガジンは、pdfファイルにて提供いたしますので、携帯電話では読むことができない場合があります。